

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 北海道から高知へ！GW 鏡川流域関係人口交流会でバーベキュー！

5月6日(火・振休)に、北海道在住の「ぼっちり」ユーザー「あいのまま」さんが高知市に遊びに来てくださることに合わせて、鏡川流域関係人口が集まる現地交流会を開催しました！午後には開催したオーベルジュ土佐山でのバーベキューには、講座受講生や「ぼっちり」ユーザーなど総勢12名が集まりました！



④ バーベキューの食材は、参加者が「みんなに食べてほしいもの」を持ち寄ったもの。鏡川のアユ、アメゴ、土佐山の田舎寿司、手作りのおにぎり、高知県産の野菜やお肉、お菓子が揃いました！「あいのまま」さんからは北海道のメロンゼリーの差し入れがありました！気さくな「あいのまま」さんとの交流の時間はとても楽しく、あっという間に過ぎていきました。

⑤ 高知市在住の「ぼっちり」ユーザー「タダノG3」さんは、前日に釣り上げたアオリイカを持って来てくださいました！



⑥ 鏡川のアユに豪快に塩をふる「あいのまま」さん。焼き加減を確認しながら塩焼きにして、約40匹のアユをみんなでいただきました！

⑦ 大人も子どもも一緒に火をおこします。



⑧ 土佐山の釣り名人が「あいのまま」さんに食べてもらいたいとの思いで釣ったアメゴも、大切に塩焼きにしました。



⑨ 親子で鏡川で釣りをしたり、棚田周辺で小さなへびを見つけて写真を撮影したりと、鏡川流域の自然を満喫しました！

⑩ 「ぼっちり」がきっかけで高知市や鏡川流域に関心を持ち、実際に足を運び、鏡川流域にまつわる方々と交流を深めてくださった「あいのまま」さん。「現地の方と直接お話しできる。こんなに幸せなことはない。こんな風に、繋がりが循環し、広がっていけば良いと思う」とコメントをいただきました！鏡川流域パートナーシップの新たな可能性を感じるような、貴重なひと時となりました。

「あいのまま」さんが帰りの飛行機からメールで送ってくださったコメントと写真。高知市を離れても、鏡川流域との繋がりを継続してくださりありがとうございます！

「いただいた鏡川流域パートナーシップのトートバッグ。飛行機乗り継ぎの際に、マークを見えるように置いています。誰が気づかな〜」



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android